

VOYAGER

ボイジャー 終わりなき旅



PRODUCED BY

UMA
VISION

これは 人類が存在した
唯一の証 <あかし> になるかもしれない…

1977年に打ち上げられた双子の無人惑星探査機
探査機の名前は、ボイジャー「1号」と「2号」

木星のオーロラ・土星のリング・衛星の大規模な火山活動
初めて間近にとらえた、天王星と海王星

太陽圏を超えて、星間空間に入ったボイジャーは
ミッション完了後も、地球に観測データを送り続ける
そしていつか、そのデータも届かなくなる…

ボイジャーの果てしない冒険の物語が今、始まる

UMA
VISION



詳しくはこちら





大型映像

VOYAGER

ボイジャー 終わりなき旅

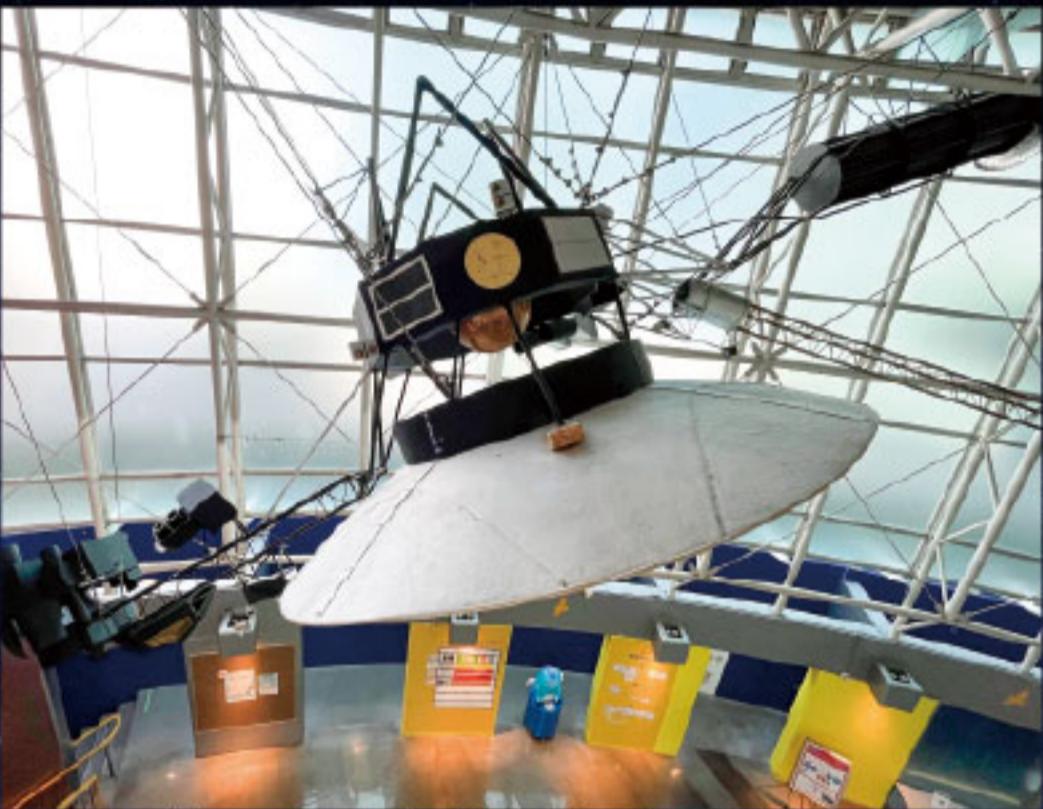
たか やなぎ
高柳館長のここに注目!



1977年の夏に地球を出発した探査機だよ。惑星探査で初めて、火星より遠い木星、土星とその衛星を探査し、さらに遠い惑星と、太陽の影響を受ける範囲(太陽圏)を探るという目的があったんだ。宇宙に旅立つ探査機として英語で航海者を意味するボイジャーと呼ばれ、1号と2号があるよ。直径3.7mのパラボラアンテナの裏に本体機器が10角形に取り付けられ、その両側には筒形の原子力電池と、惑星や衛星を撮影したカメラが設置されているよ。その映像で数多くの新発見があったんだ。

多摩六都科学館の高柳館長は天文分野のスペシャリスト!

新作の大型映像「ボイジャー 終わりなき旅」では、高柳館長の解説映像を追加したロクトオリジナル版で上映します。作品を見る前の予習に、宇宙探査機「ボイジャー」についてちょっぴり気になっていたことを公式キャラクターのペガロク(宇宙動物)が質問してみたよ!



▲原寸模型



ボイジャーは今、どうなっているの?まだ飛んでいるの?

1号は1980年、土星と衛星タイタンを観測してから次の目的のために土星を離れ、現在は地球から二百数十億km、地球から最も遠い人工物として飛行中。2号は土星、天王星、海王星を観測後、現在は地球から約二百億kmも離れた宇宙を飛んでいるよ。すでに太陽の影響が届かないところに到達していて、これからも地球と交信可能な限り宇宙を探査する予定だよ。

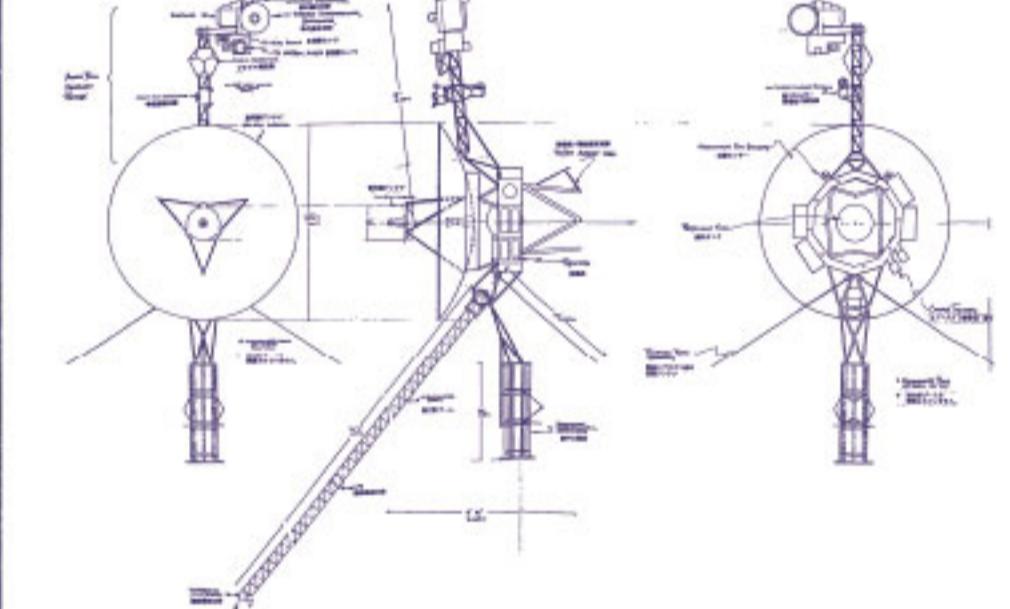


ボイジャーにはETへの素敵な贈り物が積まれているって聞いたペガ!

探査機ボイジャーに搭載されたゴールデン・レコード▶



どちらのボイジャーにも、ET(宇宙の知的生命体)へのメッセージを記録したゴールデン・レコードが積まれているよ。パラボラアンテナ裏に搭載した本体の一面に目立つ、金色のレコード・ジャケットを見つけてみよう。レコードには115枚の画像と波、風、雷、鳥や鯨の鳴き声など多くの自然音と様々な文化や時代の音楽、地球人の55種類のあいさつが収録されているんだ。日本語のあいさつでは「こんにちはお元気ですか」が収録され、音楽では日本の尺八の曲も録音されているよ。いつの日か宇宙人にも届いてほしいね。



▲原寸模型の設計図



最後に館長の一番の“ここに注目”は?



45年前に地球を出発し、今は星々の世界で宇宙人へのメッセージを運ぶ最後の仕事に就いたボイジャー。惑星探査で果たした活躍を描く大型映像「VOYAGER」は、地球人の終わりなき好奇心にも出会える必見の作品です。